

今シーズンのインフルエンザの状況

2020年3月17日

(2月10日までの報告です。)

	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	合計
インフルエンザA	1	2	0	0	0	4	4	6	62	175	260	344	179	198	194	207	202	87	57	36	20	5	2	2045
インフルエンザB	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	1	1	3	1	2	3	27	56	36	24	45	25	30	260
臨床診断	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9	22	42	47	12	21	18	27	9	11	5	7	8	3	242
A+B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
総診断数	1	2	0	0	0	4	4	8	65	186	283	387	229	211	217	228	257	152	104	65	72	38	35	2548

3/15までの報告のまとめです。19の医療機関より2548例の報告がありました。今シーズンは、46週になりインフルエンザAの報告が散見されるようになりました。49週に、総社小・東小で始まったインフルエンザA(AH1pdm09)の流行は、東中学校区に広がり52週に387例のピークとなりました。冬休みに入り小児での流行は一時終息しましたが、3学期に入り報告の少なかった西中学区で流行して、5週に257例の第二のピークとなり終息しました。

インフルエンザBには山形系統とビクトリア系統の2種類があり、最近では隔年で流行しています。今シーズンは久しぶりのビクトリア系統が検出されていたので、市内で大きな流行になるかと心配していました。インフルエンザBは、5週より西中でクラス内流行があり、兄弟を介して西中学区に広がりました。しかし、新型コロナウイルス対策で3月2日より休校・休園になり、インフルエンザBは市内で大きな流行になることなく終息すると思われます。

3/2までの教育委員会からの報告は1054人でした。新型コロナウイルスの影響で、幼・小・中が休園・休校になりました。保育園での流行はありますが、小中学生はほぼ家族内感染で、外出が制限されていることもあり周囲への感染拡大はありません。この時期だとインフルエンザの患者で忙しい小児科外来ですが、11週より患者さんは少なくヒマな状態です。マスクの着用、手洗い、タオルの共有やコップの回し飲みは避けるなど、感染予防に努めて下さい。

中学校	1873	190	10.1%
小学校	4,042	664	16.4%
幼稚園	854	155	18.1%
こども園	153	45	29.4%
合計	6,922	1,054	15.2%

